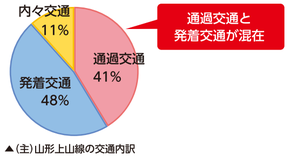
山形南道路に期待される整備効果

①幹線道路の機能確保と交通の安全性向上

国道112号および主要地方道山形上山線（通称：山形西バイパス）では、中心市街地を通過する車両と、市街地を発着する車両が混在しています。これにより日常的に渋滞が発生しており、渋滞を起因とした追突事故が多く発生しています。

山形南道路の整備により、利用交通の分担が図られ、交通渋滞が緩和されます。また、交通の安全性向上が期待されます。



▲(主)山形上山線の交通内訳



②安定した救急医療活動を支援

国道112号および周辺主要道路では、日常的に救急車両が交通渋滞に巻き込まれています。そのため、救急車両が他道路への迂回を余儀なくされ、搬送時における迅速性の確保が課題となっています。

山形南道路の整備後は、利用交通の分担が図られ、交通渋滞が緩和することにより、救急医療活動の支援が期待されます。



▲国道348号を通行する救急車両

整備効果例　山形市西消防署周辺（山形市西田）から
山形大学医学部付属病院（三次救急医療機関）への所要時間
【現況】16分　→　【整備後】11分（5分短縮）

※令和3年度全国道路・街路情勢調査、整備後：将来交通量推計結果（R22）を基に算定



▲救急医療機関の位置図

③円滑な物流活動の支援

山形中央IC周辺では、2021年より物流センターが稼働するなど、物流活動の向上が期待されています。その一方で、物流拠点までの輸送ルートとなっている（主）山形上山線では日常的に交通混雑が生じており、輸送における速達性・走行性の確保が課題となってます。

山形南道路の整備後は、利用交通の分担が図られ、交通渋滞が緩和することにより、物流活動の支援が期待されます。

整備効果例
【上山市に製菓工場を有する食料品製造業者】
製菓工場から物流拠点（山形IC付近）までの所要時間
【現況】26分　→　【整備後】18分（8分短縮）

※令和3年度全国道路・街路情勢調査、整備後：将来交通量推計結果（R22）を基に算定



▲(主)山形上山線の交通状況



▲物流拠点・物流経路の例

山形河川国道事務所管内の道路改築事業

山形河川国道事務所では、国道13号、47号、48号、112号、113号の5路線と東北中央自動車道の整備や管理を通じて、県内の産業振興に欠かせない交通基盤の構築に取り組んでいます。

■主要事業位置図



凡例
- 自動車専用道路（有料区間）
- 供用中 事業中 自動車専用道路（無料区間）
- 供用中 事業中 その他の一般国道（指定区間）

国土交通省　東北地方整備局
山形河川国道事務所

〒990-9580　山形市成沢西四丁目３−55
TEL.023-688-8421（代）FAX.023-688-8391

山形河川国道事務所ホームページ
https://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/

山形河川国道　検索

事務所HP　公式X（旧Twitter）

令和7年12月作成

国道112号
山形南道路



国土交通省 東北地方整備局
山形河川国道事務所

事業の概要

山形南道路は、山形市蔵王松ヶ丘より山形市西崎に至る延長約9.0kmのバイパス事業です。
山形南道路の整備により、利用交通の分担が図られ、幹線道路ネットワークの機能を確保するとともに、交通渋滞を緩和し、交通の安全向上や安定した救急医療活動と円滑な物流活動の支援を目的とします。

計画路線概要

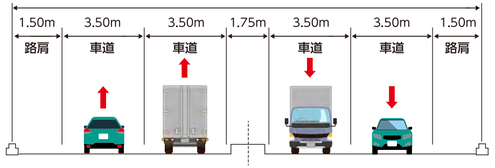
起 点	山形市蔵王松ヶ丘
終 点	山形市西崎
延 長	9.0km
車線数	4車線
道路区分	第3種第1級
設計速度	80km/h

事業の経緯

令和3年度～令和5年度	計画段階評価
令和7年1月	都市計画決定・告示
令和7年3月	新規事業採択時評価
令和7年度	新規事業化

標準断面図（単位：m）

［バイパス区間］



［現道活用区間］

